



# ゆずり葉だより

編集・発行／ゆずり葉コミュニティ 事務局・広報 (発行部数) 4,700部  
 〈住所〉〒665-0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号 宝塚市立逆瀬台小学校内  
 〈Eメール〉yuzurihacom@a.zaq.jp 〈連絡先〉中村 TEL 72-5644  
 〈掲示板〉http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs (自由投稿版)  
 〈ブログ〉http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/230  
 〈ホームページ〉http://yvrh.exblog.jp/ 〈TEL/FAX〉0797-73-8839

でくい  
くる  
明  
樂  
まちづくり  
まちづくり



夏 第88号

## 平成29年度定時役員会(総会)を開催 ゆずり葉コミュニティの役員・委員が決定



平成29年度定時役員会  
が、4月30日(日)、ゆずり葉  
コミュニティルームで動  
催されました。報告事項2  
件と議案3件が全員の賛成  
により原案通り承認されま  
した。活動報告、会計報告  
などについては、前号の  
「ゆずり葉だより春第  
87号」をご覧ください。

### 《五役名簿(5名)》

相談役	井笠暉雄
会長	中村一雄
事務局長	石谷清明
活動支援局長	古泉義太郎
特命部長	遠藤捷爾

### 《監査役員(1名)》

監査役員	宮岡昭一
------	------

### 《事務局委員名簿(5名)》

広報委員	北川順子
"	篠原和豊
書記委員	高崎恒子
経理委員	山川恵美子
施設委員	中村一雄

### 《活動局委員名簿(10名)》

活動委員	西澤芳正
"	岩井友久
"	大迫規子
"	清水妙子
"	久原正基
"	宮部鶴子
"	大河原礼子
"	石谷清明
"	内田佑子
"	村田敬子

### 《平成29年度役員名簿(19名)》

自治会及びマンション管理組合	役員名
逆瀬台自治会	大澤喜弘
"	佐野幸二
光ガ丘自治会	古泉義太郎
"	小畠一郎
阪急逆瀬台アヴェルデ自治会	外山算彦
"	栗林和晃
逆瀬川グリーンハイツ自治会	遠藤捷爾
"	柳瀬邦雄
阪急青葉台自治会	光村正生
"	大森正広
逆瀬川マンション自治会	山本 勝
宝梅園団地自治会	木下満江
宝塚西山住宅自治会	本行正信
ゆずり葉台自治会	原 裕子
阪急逆瀬台マンション自治会	石谷清明
逆瀬台2丁目自治会	中村一雄
逆瀬川パークマンション管理組合	平塚圭子
逆瀬台住宅管理組合	河本京太
シャンティー逆瀬川管理組合	石丸誠一

#### ● 逆瀬台小学校区 選出者

《宝塚市自治会連合会役員名簿》  
 会長=中村一雄、理事=古泉義太郎  
 理事=石谷清明

て、自治意識が育まれることが必要と考えられるようになつた訳であります。宝塚市では、平成5年から新しくコムニティ課を新設して、市の主導で市内の小学校区を単位(人口約1万人程度)として、住民活動の横断的な協議会を組織し運営を図るよう推進してきました。逆瀬台小学校区においても、平成5年から平成7年にかけて10数回の準備委員会が開催され、平成7年6月24日に市内第9番目のまちづくり協議会が発足しました。これが「逆瀬台小学校区まちづくり協議会」(通称ゆずり葉コムニティ)であります。

一方イベント開催の方は、初年度だけは11月1日に逆瀬台小学校の体育館において創立記念映画会として「地球交響曲」の上映を実施しましたが、次年度以降は、10月に逆瀬台小学校児童交響曲の課外授業として行われていた「ゆづり葉」であります。一方イベント開催の方は、初年度だけは11月1日に逆瀬台小学校の体育館において創立記念映画会として「地球交響曲」の上映を実施しましたが、次年度以降は、10月に逆瀬台小学校児童交響曲の課外授業として行われていた「ゆづり葉」であります。

協議会の発足にあたって、1人でも多くの地域住民に対して協議会への参加意識を促すためと、ブロック毎の参加率(組織率)判定の目安とするため、1世帯当たり年間30円の会費(協賛金)の納入をお願いしました。協議会の発足にあたって、1人でも多くの地域住民に対して協議会への参加意識を促すためと、ブロック毎の参加率(組織率)判定の目安とするため、1世帯当たり年間30円の会費(協賛金)の納入をお願いしました。協議会の運営にあたっては、域内を5つのブロック(光が丘、青葉台、北逆瀬台、東逆瀬台、西逆瀬台)に分け、各ブロックから役員5名、代議員10名ずつの合計75名がボランティアとしてコムニティに参加し、その活動母体として、広報、教育文化、環境美化、健康福祉の4部を設けて、75名の役員及び代議員はそのいずれかの部に所属して、具体的に活動を展開することになりました。協議会の運営にあたっては、域内を5つのブロック(光が丘、青葉台、北逆瀬台、東逆瀬台、西逆瀬台)に分け、各ブロックから役員5名、代議員10名ずつの合計75名がボランティアとしてコムニティに参加し、その活動母体として、広報、教育文化、環境美化、健康福祉の4部を設けて、75名の役員及び代議員はそのいずれかの部に所属して、具体的に活動を展開することになりました。

### 年間30円の会費の徴収

宝塚市民であればすべての住民に、1部実費27円を掛けた広報紙(ゆづり葉だより)を年4回配布しており、1世帯当たりの年間受益額108円から見れば、年間30円の協賛金の納入は、さ程抵抗は無かるうと考えたのです。

しかし、当時から組織が整つていた自治会地域ではほぼ100パーセントに近い協賛金の徴収ができた反面、まだ自治会が組織されていなかつたマンション群のうちあるマンションでは、居住する400世帯のうち協賛金を納めてもらえたのは僅かに3世帯(参加率0.7パーセント)というような極端な事例も発生しました。これに対しても、協議会の役員が先方の管理組合理事会に乗り込んで行つて、丁寧に主旨を説明し理解を求める努力をいたしました。現在では、各单位組織共に100パーセントの協賛金の納入を得ている状況から顧みますと、まさに昔日の感を禁じ得ません。

## 「ゆずり葉」ミニコーネーの変遷

相談役 井笠暉雄

に、まちづくり協議会補助金交付要綱に基づいて補助金386千円を交付しました。ただし、これには次の2つの条件が付きました。即ち、その1つは、年に1回程度地域を挙げてのイベント開催に努力することであり、2つ目は、広報紙の発行がありました。広報紙の

り葉まつり」に便乗し、これを校区まちづくり協議会が主体的に実施する域内に神社のない地域の唯一のお祭りとして、育て发展させて行くよう目論みましたが、学校教職員とPTAの反対に合つて、残念ながらこの計画は実行に至りませんでした。

協議会の運営にあたっては、域内を5つのブロック(光が丘、青葉台、北逆瀬台、東逆瀬台、西逆瀬台)に分け、各ブロックから役員5名、代議員10名ずつの合計75名がボランティアとしてコムニティに参加し、その活動母体として、広報、教育文化、環境美化、健康福祉の4部を設けて、75名の役員及び代議員はそのいずれかの部に所属して、具体的に活動を展開することになりました。